

## 議 事 録

<b>件 名</b>	令和4年度 第1回 久留米市男女平等推進センター運営委員会	
<b>日 時</b>	令和4年8月30日（火）19:00～20:30	
<b>場 所</b>	えーるピア久留米 210・211 研修室	
<b>出席者</b>	<b>委員</b>	堀田富子、末崎由美子、宮里武行、佐藤あい子、矢ヶ部秀範、 江藤美智子、守屋普久子、酒井道宏、角栄子、樋口孝司、伊崎より子
	<b>事務局</b>	酒井・大場・田中・蓮尾（男女平等推進センター）
	<b>ワザパー</b>	重石・水落（男女平等政策課）
<b>欠 席 委 員</b>	緒方麻美、松本圭史、笠智宣	
<b>傍 聴 者</b>	0名	
<b>配 布 資 料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和3年度 事業実施概要</li> <li>■令和3年度 施設利用状況</li> <li>■令和4年度 男女平等推進センター事業一覧（7月末現在）</li> <li>■令和4年度 事業実施概要（7月末現在）</li> <li>■令和4年度 施設利用状況（7月末現在）</li>   <li>■第11期 久留米市男女平等推進センター運営委員会 委員名簿</li> <li>■ジャーナル vol.71</li> <li>■講座チラシ</li> </ul>	
<b>議 事 内 容</b>		
<p>1. 開会</p> <p>2. 新委員紹介</p> <p>3. 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 令和3年度事業報告について 施設の利用状況 事業実施状況</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 令和4年度事業の概要について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 令和4年度事業報告（7月末現在）について 施設の利用状況 事業実施状況</p> <p>4. その他</p>		

## 議 事 内 容

### 【質疑応答】

#### 3. (1) 令和3年度事業報告について

質疑なし。

#### 3. (2) 令和4年度事業の概要について

質疑なし。

#### 3. (3) 令和4年度事業報告（7月末現在）について

##### ■施設の利用状況

##### ■事業実施状況

(委 員) 多くの方が相談窓口を利用しているが、何をきっかけに相談窓口の存在を知ったかのデータ（アンケート等）はあるか。トイレなどに周知カードなど置いてあるがそれがどれだけ結果に結びついているのか聞きたい。

(事務局) どこで相談窓口を知ったかの正確な統計はとっていない。相談員の体感ではあるが、多くは周知カードから存在を認知いただいている。また身体的暴力を受けている方が警察から紹介されたり、精神的暴力を受けている方が医療機関から紹介されたりといったのがある。昨年度は市の事業で生理用品を配布しており、その際に相談窓口の周知を行った。それも効果が出ていると思われる。

(委 員) 女性の就職セミナー（コロナ下での面接に活かす生き生きメイク術）について、世の中では就活の際に女性に化粧を求める風潮を見直そうという動きが大手企業から出てきている。そういった中、ジェンダーを助長するような講座を行ったのは男女平等推進センターとして不適切ではないか。女性はみかけということにならないか。  
また、男女共同参画基礎講座「子育てママ講座」とあるが、これもまた子育ての第一人者が女性というジェンダーを助長することにならないか。連続講座であるが講座の中に男女共同参画についての内容は入っているのか。

(事務局) メイク講座については、福岡県労働局の費用を用いて開催できる講座であったため、申し込みを行った。男女共同参画の視点は講師と調整し講座の中に入れさせてもらった。コロナ下においてマスクをしたままの面接で表情を出すことが難しく、なかなか採用に結びつかないという現状を踏まえての講座であると伺っていた。しかしながら男女平等の視点から様々な誤解語弊を生みかねない講座であったことは多方面からご意見をいただいております。今後は講義内容を検討する。

次に「子育てママ講座」については、子育て期が一番ジェンダーに疑問を持つ時期であり、この時期に男女平等推進センターがアプローチするのが重要だと捉えているため、ターゲットは子育てママとしている。今年度は記載の内容で行うが、来年度は意見を参考に内容を検討したい。

(委 員) 門戸を広げるという意味は分かるが、センター設立の目的を違えてはいけない。

(委 員) 労働講座については講師からの労働相談会などを設けていただくことはできないか。

(事務局) 労働相談会については講師のみで受けるとなると負担が大きい。ハローワークや男女平等推進センターの相談員でも受けられる部分については分担して相談を受けることができると考えている。

(委 員) 昨年度受講し、講師が経験豊富であり様々なケースでの回答ができると感じた。来年度は是非講師を主軸とした労働相談会を検討してほしい。

- (委員) 就職セミナーについて、趣旨がどうであれキャッチとしてこういったタイトルを使用すべきでなかった。言葉の使い方が問題になっている世の中で、県からの提案だとしても、久留米の実態からタイトルがそぐわないのであれそぼの旨を返答すべきであった。
- 労働講座に関して、労働講座は非常に重要な講座であると感じるので、ぜひ単回の講座ではなく、複数回の連続講座にて実施してほしい。それに関連して、センターで主催予定の就業支援講座があるが、そこに労働法の講座を取り入れてほしい。女性が生きていくためにはお金が必要であるが、現在のセンターの主催講座では働くことに対する支援講座が少ないように思える。是非早ければ年度内からお願いしたい。
- (事務局) メイク講座に関しては、両委員からの意見を十分に受け止めたうえで、今後の事業計画に反映させていただく。
- 労働講座については、生きていくうえで必要なお金に関する講座であり、女性にとって非常に重要な講座だと認識している。今年度の内容についてはすでに計画済部分もあり変更が難しいので、いただいた意見は来年度以降に反映させていただければと思う。久留米市の労働部局などと連携を取りつつやっていきたい。
- (委員) 是非とも願います。
- (委員長) 労政課の相談窓口一覧に男女平等推進センターの相談室が入っておらず、労政課に相談室が労働に関する相談を受け付けているという認識がなかった。労政課と男女平等センターは密に連携をとって欲しい。女性の経済的自立は特に力を入れなければいけない部分。強く願います。
- (事務局) 庁内の連携不足はご意見の通りであり改善していく。最近若者向けの相談「みらくる」もできた。より庁内の連携を密にしていく。
- (委員) 今、男女平等に関することで一番ホットな話題は上位職への女性の登用と、男女間のペイギャップ（賃金格差）だと思う。久留米市内の男女間賃金格差のデータはあるか。
- もう一点、運営委員会での報告の仕方について、もっと各事業の現在の課題ややり方への疑問などを議題として挙げてほしい。そのほうが、委員としても建設的な意見を述べられると思う。今のやり方だとどこに焦点を当てて意見を言えばよいかわかりにくい。
- (事務局) 把握している限りは久留米市内の男女間賃金格差のデータはない。あったとしても筑後地域といったもう少し広い範囲でのデータになる。しかしながら、久留米市内における非正規労働者は女性が多く、女性の収入が低い状況にあるのは間違いない。
- 運営委員会での意見の集約方法については、議論テーマを設けるなど、今後より良いやり方を模索していきたい。その中で実施してほしい講座案などいただくと、予算要求に反映できる。
- (委員) データは課題の見える化につながり大事なので、取り組んでほしい。今後報告は反省点や課題を含めていただきたい。(要望・回答不要)
- (委員) 事業の報告について、事業のアンケートはとっているはずなので、参加人数だけでなく参加者の声とか意見などを運営委員会の中で報告してほしい。また、やはり女性が生きていくためにはお金が必要だが、女性の雇用が多い介護職など賃金が低いのが問題である。なぜそうなっているのか、社会・政治はどうかになればよいのかを重点に考えてほしい。
- (要望・回答不要)
- (委員) 今の意見にあったジェンダーと政治をテーマの講座は私からもお願いしたい。
- もう一点、男女共同参画動画支援事業の動画を運営委員会の中で視聴することはできないか。
- (事務局) 男女共同参画動画支援事業の動画を流すことは可能だが、15分あるので運営委員会の中で流すにはそぐわない。一部省略した形であれば流すことができる。それでよければ次回検討する。

- (委員) ジェンダーと政治の講座については、講座内容について事務局側の考え方はあるか。
- (事務局) 昨年度実施した国際女性デー記念事業のような形で実施できればと考えている。
- (委員) 国際女性デーの講座は政治の視点というより講師自身の話が主軸だった。それとは違う政治が女性に関わる問題だという視点で講座をしてほしい。(要望・回答不要)
- (委員) 動画については、運営員会の中で流すのではなく、開催時間の15分前から流すのはどうか。視聴したい方のみ早めに来るのであれば省略せず流せると思うのでそれをお願いしたい。
- (委員) 要望の一つ。男性の育休について推進や制度面等での講座はしていただいているが、男性の育休取得者は増加傾向にあるので、ぜひ育休期間にやるべきことといった育休中の方に向けた視点での講座をやってほしい。(要望・回答不要)
- (委員長) 私からもお願いしたい。育休中の役割が性別で固定されないように啓発すべきだと思う。育休取得率が上がればいいと言う問題ではない。

【質疑終了】